

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05712	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	極域プランクトン—その特質の理解—	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	原田 尚美 (海洋研究開発機構・地球環境観測研究開発センター・研究開発センター長代理)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、北極海的环境変動に伴う動物・植物プランクトンの北極海は海洋酸性化が他の海域に先駆けて進行する「脆弱性」、温暖化による極域侵出する「頑健性」、極域に特有のプランクトンの「特異性」に焦点をあてた研究である。</p> <p>それぞれの焦点に沿って、着実に成果が出ている。例えば、沈降粒子中の18SrRNA配列から沈降粒子を構成する多様性の変化が時系列的に明らかにされつつある。</p>		